

## 科の説明

紹介患者様、術後患者様や病状変化のある患者様を対象とした、地域支援型の診療体制となっており、主に特殊検査（蛍光眼底検査、光学干渉計、斜視検査、視野検査など）や手術、レーザー治療が中心の診療になっています。検査、治療の最新機器がほぼ全て揃っており、手術については、白内障、硝子体手術を中心に緑内障、斜視、眼瞼疾患（眼瞼下垂、内反症など）、結膜疾患（翼状片、結膜弛緩など）、外傷などに全てに対応して連日手術を行っております。

## 一般目標

日常的に遭遇しうる眼科疾患に対する初期治療と必要に応じた専門医コンサルトができるように、一般的な眼科疾患の理解を深め、スタッフと協力しながら、眼科診察、検査、治療に参加し、救急対応ができる臨床的技術を習得する。

## 行動目標

- 1) 患者側に立った考え方と患者中心の診療ができる。
- 2) 簡潔かつ的確な病歴聴取と記録に加え、おおよその病状推察ができる。
- 3) 外観診察、細隙灯検査により、前眼部、中間透光体の異常を検出、記録撮影が行える。
- 4) 細隙灯を使用して、圧入式眼圧測定、記録ができる。
- 5) 倒像眼底鏡により眼底観察が行え、写真撮影による記録ができる。
- 6) 動的、静的視野検査、記録ができる。

## 経験目標

- 1) 流行性結膜炎の診断、治療。
- 2) 白内障手術における清潔、不潔助手経験。
- 3) 緑内障発作の診断と救急対応。
- 4) 角結膜異物の処置

## 指導体制

入院患者については、指導医と研修医が主治医、副主治医となり、受け持ち症例の治療に当たる。外来診療においては、指導医とともに診察を行う。出来る範囲で全て経験していただく。

## 週間スケジュール

	午前	午後	時間外
月曜日	外来診療実習	手術実習 検討会	フリー
火曜日	蛍光眼底検査 光学干渉計検査	手術実習 検討会	フリー
水曜日	外来診療実習	外来診療実習	フリー
木曜日	蛍光眼底検査 光学干渉計検査	手術実習 検討会	フリー
金曜日	外来診療実習	手術実習 検討会	フリー

## 定例研修会等

年1回 三重県眼科セミナー  
年1回 三重県手術懇話会

## 具体的な研修方法・留意事項

- 1) 外来研修において外来症例に応じ、視力検査、細隙灯検査、眼圧検査、眼底検査、視野検査、角膜内皮検査、眼軸長測定、超音波検査、前眼部撮影、眼底撮影、蛍光眼底検査、屈折検査、色覚検査などの諸検査を指導医の下で経験することができる。  
(血液検査、尿検査、細胞、病理検査、各種画像検査CTMRIなど全身状態の把握を行なうための中央諸検査のオーダーもしていただきます。)
  - 2) 午後外来検査では、各種検査機器の操作法を習得する。特に救急外来に一般検査処置に必要な機材が設置されているので、それらの操作法を習得する。
  - 3) 指導医・研修協力医とともに適宜入院患者診察を行い必要な検査、処置を実施する。  
(小児診察、重症患者診察は原則含まれません。精神面でのケアなど指導医・研修協力医の患者に対する診察、対応から学んでいただくこととなります。)
  - 4) 手術に際しては、助手を務め、時には術者として参加する。  
(注射、局所麻酔、創部消毒、外傷に対する一次縫合なども適宜おこないます。)
  - 5) 角膜結膜異物除去・結膜炎診察については、指導医・研修協力医の下実施する。  
(細隙灯顕微鏡での診察処置について、指導医・研修協力医の指導を受けてもらいます。)
  - 6) 白内障手術は助手参加可能であれば行う。  
(顕微鏡下での手術手技を実践するため、縫合練習などもしていただきます。)
  - 7) 糖尿病網膜症、網膜剥離、緑内障、感染症、屈折についてはミニレクチャーを行う。
  - 8) 当院眼科外来での患者診察、入院、手術、退院の流れから、療養薬物指導、診療録記載、処方箋指示箋、各種診断書紹介状作成、クリニカルパスの活用などにおける業務合理化について理解実践していただきます。
- 注) 上記研修内容については、全て習得におよそ6ヶ月は必要です。